



詫中の生徒は、確実に変わってきた!

教育委員会の先生方からお褒めの言葉



6月6日(金)、「学校訪問」がありました。これは年1回、県教育委員会と市教育委員会の先生方と校区内の保幼小の校長先生方が詫中を訪問され、日頃の授業風景や学校での活動などを視察する行事です。

朝、玄関では来校された先生が、登校の様子や校門でのあいさつ運動などを見ていらっしゃいました。その後、1時間目から5時間目まで、しっかりと授業参観をされました。20名近くの先生方が教室に入って来られたので緊張した人も大勢いたことでしょう。中には、小学校時代の校長先生にあいさつをしていた人もいましたね。いつもに増して授業にがんばっている姿がそれぞれの教室で見られました。

皆さんが下校した後の会議では、訪問されての感想や改善点についてのお話しをいただきました。

指導の先生方からは、「詫間中学校の先生は、生徒に分かったと実感させようと工夫した授業をしていたし、生徒は先生とともにしっかりと楽しく授業に向き合っていた」とか「マナーアップリーダーズのあいさつ運動や生徒会の空き缶回収など、生徒が主体的活動できる学校だと感じた」などのお褒めの言葉をいただきました。

6日朝の様子です。⇒ ⇒
小雨の中、校門ではマナーアップリーダーズがあいさつ運動を、自転車置き場では生徒会が空き缶集めを行っていました。



最後に、三豊市の臼杵教育長さんから、「NO LIMIT～明日は、きっと、できる～」のスローガンのもと、生徒が以前に増して、よく授業に取り組んでいたことをひしひしと感じました。うれしいかぎりです。生徒の皆さんに、ぜひ多くの先生方にほめられたことを伝えていただいて、自信につなげてほしい」というお話をいただきました。詫中の生徒諸君！自信をもって、さらに素晴らしい詫中にしていこう。

ちょっと、(本当はすごく)残念なことも...

6月5日(木)の下校時間のことです。一本の電話が鳴りました。電話の向こうから、「詫中の生徒の交通マナーはどうなっとんぞ。歩道を歩くんが危のて歩けんが!」・・・この日は、お昼の放送で扇田先生が、歩道一列で通行しようと放送で呼びかけをしたばかりでした。電話された方は、本当に危ない目にあつたので、電話されたのでしょう。**詫中生よ、自転車の交通マナー、このままでいいのか?**

